

土木部は発足から80周年を迎えました

●昭和8年に宮城県土木部が発足

明治4年に仙台県が設置されてから、本県の土木行政は、課制という組織体制の中で、庶務課に属し、明治19年に部制がしかれた後は、内務部に属してまいりました。

昭和8年3月8日に発生した昭和三陸地震によって引き起こされた大災害（三陸地区に未曾有の大津波。死傷者466人）からの復旧対策に対応するため、同年9月に土木課は、土木部に昇格しました。監理課、道路課、河港課の3課と地方11事務所からスタートした土木部は、数多くの災害対応や、戦後の社会資本整備が主要な施策であった高度経済成長の時代を担い、県政発展に大きく寄与してきました。

(※)東北大学名誉教授 首藤伸夫先生 提供



昭和8年 昭和三陸地震宮城県 相川の被害写真※



昭和22年9月 カスリ台風災害 北上川・大泉堤防の復旧作業（登米市（旧中田町））



昭和37年 有料道路蔵王エコライン開通（蔵王町）



昭和46年 仙台港開港（仙台市・多賀城市・七ヶ浜町）

★土木部80周年を記念して、これまでの社会資本の役割の検証し今後の県土づくりを提言するためのフォーラムを来年2月に開催予定です。

●宮城の土木史について

土木部では、発足後40年目（昭和47年）及び60年目（平成4年）の節目に「宮城の土木史」を発刊しています。宮城の土木史は、土木部発足後の県土基盤づくりの歩みをまとめてきたものであり、住宅社会資本整備のあり方を考えていく資料として広く活用されています。現在では、土木部80周年を記念した土木史についてとりまとめています。今回は、「平成の大規模プロジェクト・災害対応」について下記のとおり一部写真のみご紹介いたします。

・平成の大規模プロジェクト・災害対応



仙台塩釜港の整備 仙台空港アクセス鉄道（名取駅～若狭駅） 宮谷ニュータウン（利府町） 仙石線多賀城地区私鉄立交差事業



東北歴史博物館新築工事（多賀城市） 一般国道113号宮崎町バリエーション整備事業 丸森大橋（丸森町） 宮床ダム建設事業（大和町）

新生宮城の発展に向けて

復興加速
復興実感
宮城県土木部
がんばるっちゃ！

○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班
HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>
TEL: 022-211-3108 E-mail: dobokgk1@pref.miyagi.jp
バックナンバー:
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/fukou-dayori.html>

宮城県土木部復興だより

第12号

平成25年11月20日発行

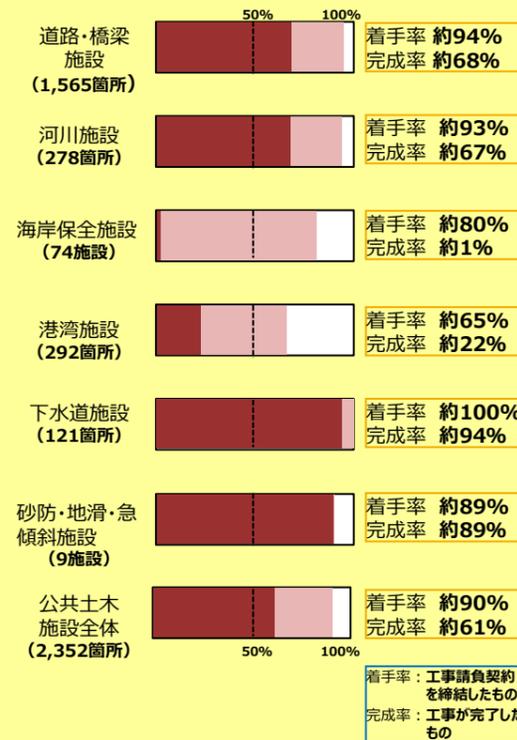
Contents

宮城県土木部の最新の復旧・復興関連ニュースを2ヶ月に一回のペースでまとめて発信しております。

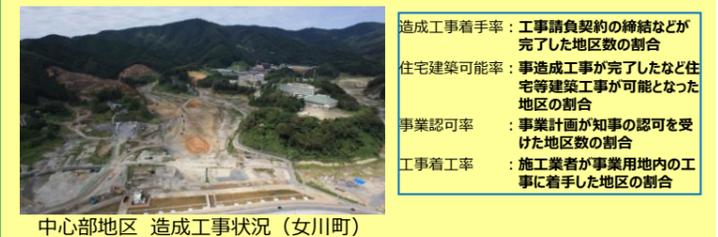
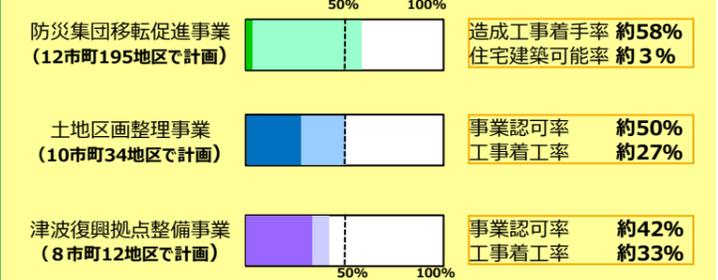
- 東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況【10月末現在】
- 土木部復興トピックス
- 土木部は発足から80周年を迎えました

東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況【10月末現在】

●災害復旧工事の進捗状況

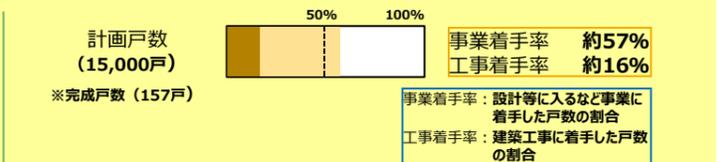


●復興まちづくり事業の進捗状況



中心部地区 造成工事状況（女川町）

●災害公営住宅の整備状況



国道398号 戸倉字津の宮地内 工事完了状況（南三陸町）



吉野町一丁目地区 建築工事状況（石巻市）



荒浜地区 建築工事状況（亶理町）

▲詳しくはURLを参照願います <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>

土木部復興トピックス (9月下旬～11月上旬)

● 9月30日 慶長使節船ミュージアムドック棟 復旧工事完了

サン・ファン館の名で親しまれる宮城県慶長使節船ミュージアム(石巻市)は、震災により被害を受けましたが、特に「サン・ファン・パウティスタ」(復元船)を間近で見ることができるドック棟は津波により壊滅的な被害を受けました。復旧工事は、今年2月から進められ、この度完全復旧いたしました。



● 慶長遣欧使節出帆400年記念事業

今年(2013年)は、使節船「サン・ファン・パウティスタ」が1613年(慶長18年)10月28日に支倉常長ら一行を乗せ、ヨーロッパに向け石巻市月浦を出帆してから400年の節目の年です。それを記念して、県では、関係団体と連携して様々なイベントを実施するなど、慶長遣欧使節出帆400年記念事業を推進しています。復旧した慶長使節船ミュージアムにおいて記念式典(11/2)やフェスティバル(11/3,4)を開催しました。



▲詳しくはURLを参照願います。 <http://www.santjuan.or.jp/>

● 10月16日 南三陸町志津川地区 被災市街地復興土地区画整理事業 事業認可書交付式 開催

事業認可書が、宮城県遠藤土木部長から佐藤南三陸町長へ手渡されました。南三陸町長は、「住民と一体となって復興を進めていきたい。」と述べられました。



● 10月19日、20日 ソラ行け旅フェスタ～TRAVEL FESTA 2013 in SENDAI～ 開催

仙台空港から出発する「旅」を紹介するトラベルフェスティバルが今年も仙台一番町商店街で開催されました。過去最大となる34店舗のPRブースや、メインステージでのダンスショーなどにより旅の魅力を感じていただきました。



来場者数は、これまでで最大の48,000人を記録

● 10月7日 第2回 復興加速化会議 開催

国、被災自治体、建設関連団体が集まって開催された今回の会議は、今年3月以来の2回目の開催となりました。会議では復旧・復興の進捗状況や資材不足対策などについて話し合われました。

2回 復興加速化会議



太田国土交通大臣による挨拶

● 10月10日 国道398号宮前工区開通式 開催

平成19年度から整備を進めてきた国道398号栗原市一迫宮前工区が供用開始しました。この開通は、秋田・宮城両県の産業経済活動や、観光振興に寄与するものと期待されます。



▲詳しくはURLを参照願います
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khdbk/kokudou398gou-miyamaekouku-kaituu.html>

● 10月11日 復興まちづくり事業カルテリニューアル

県では、被災地の面整備の計画状況をお示しするため、関係機関の協力を得てカルテを作成・公表しておりますが、この度、全ての面整備事業を網羅させるなど、内容の更新・充実を図りました。



▲詳しくはURLを参照願います
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukumachi/karutekouhyou.html>

● 10月11日 美里町災害公営住宅 入居開始

美里町では、御蔵場地区、上戸地区、練牛地区で市独自建設による災害公営住宅を合計40戸計画しており、この度、そのすべての住居が完成し入居を開始しました。



練牛地区の状況



● 10月13日 仙台空港アクセス鉄道ラッピング列車 運行開始 (平成26年1月31日まで)

仙台空港は、12月から「仙台～バンコク線」が就航し、復興に向けてますます利便性が向上します。そのPRの一環として、仙台空港アクセス鉄道では、就航都市をイメージしてデザインされたラッピング列車が運行されています。ぜひ、ご利用ください。



● 10月20日 復興祈念公園(石巻市)市民フォーラム 開催

「石巻市南浜地区における復興祈念公園を考える」と題して、石巻市で市民フォーラムを開催しました。東京都市大学環境情報学部教授の涌井史郎氏による講演、ワークショップ報告、パネルディスカッションを通じて、復興祈念公園のあり方について考えました。



● 11月1日 長沼ダムの試験湛水 開始

長沼ダム(登米市)は、堤高15.3m、総貯水容量3,180万m³の均一型アースフィルダムです。昭和50年度に建設事業に採択され、平成12年に本体基礎工事に着工以来、ダム本体及び付属施設などの工事を進めてきましたが、この度、ほぼ完了の見込みとなり試験湛水を行うことになりました。今年度末で試験湛水を完了させ、来年度から管理に移行する見込みです。



● 11月7日 気仙沼市南郷地区 災害公営住宅整備事業着工式 開催

南郷地区では、UR都市機構発注により、10階建て1棟、6階建て2棟(計165戸)の共同住宅が建設されます。



● 11月8日 塩竈市港町地区 一団地の津波防災拠点市街地形成施設 事業認可書交付式 開催

本事業では、緊急避難施設や避難路として機能する津波避難デッキ、来街者等の避難施設として津波復興拠点支援施設、備蓄倉庫の設置を計画しています。

